



2008年6月26日

(BSEF 本部声明文)

VECAP (自主排出削減管理計画) は効果的に難燃剤の管理を継続しています

本日、臭素系難燃剤協会は VECAP 第 3 回年次進展報告書を公開しました。この報告書にある主要な点は、

- 今日、欧州においては、臭素系難燃剤の包装材残渣の約 90%が、規制管理された処分法において効果的に処理されている
- 欧州全域において Deca BDE の大気及びプロセス水への排出は、プラスチック及び繊維業界共に削減されている
- VECAP は REACH により要求される業界の川下ユーザーに対する化学品管理の指導責務を満たしている

ことである。

VECAP は、2004 年に難燃剤メーカーとそのユーザーであるプラスチック及び繊維メーカーにより開始された。この革新的なプログラムは全供給経路に於ける化学品管理の認識と理解の増大を目指した。欧州臭素系難燃剤協会会長、ヴェロニック・ストッカー博士は「本報告は、単純且つコストの低い管理記録と最善手段を先見的に実施することにより、全経路において有効な化学品の管理に業界が貢献出来ることを示している。VECAP は化学業界の中で先頭を走り、重要な結果を達成したプログラムで、他の業界においても化学品の管理に関しお手本となるべきものであろう」と述べている。

VECAP は、単に臭素系難燃剤を扱い使用する際の排出を管理するという手段から、作業所で化学品を管理するシステムに急速に進化した。これは広範な作業、原料に適用できる。

2007 年は、プロセスに於ける潜在的な排出源、即ち荷捌き、洗浄後の残渣水準、使用後の包装材の処分にきっかり対処することに力点を置いた。過年度、当業界はこれら潜在的な排出源の管理を法の要求を超えて予備的に導入し推進した。これらは需要家及び廃棄処理会社と直接接触し包装材残渣に対する意識を高めたことと、プロセス・荷捌き時の廃棄物を最小に留める特別の手段と管理記録のルール化を進展させたことで実現した。

欧州で導入後、このプログラムは、多くの需要家が参画して現在米国、カナダ、日本でも実施されている。米国・カナダでは、Deca-BDE の需要家の 79%、TBBPA は 60%が既にこの VECAP に参画している。2007 年 1 月に日本で導入され、大きな進展が見られている、HBCD 需要家の 88%が参画している。



全供給経路を通じての VECAP 参画者によって既にもたらされた成功と前進は、化学業界が自社製品の安全且つ環境に優しい使用を実行し推進するという責務を果たしていることを示しています。

更なるお問い合わせは、欧州臭素系難燃剤協会 Phil Hope (Sector Group Manager) 、
電話： +32 2 676 7230 E-mail: pho@cefic.be にコンタクト下さい。

(VECAP は欧州臭素系難燃剤工業会=EBFRIP がその世界的な組織である臭素科学・環境フォーラム =BSEF と一緒に行っている自主活動です)

(終)